

ユカギール語コリマ方言の民話資料

長崎 郁

1. はじめに

北東シベリアに居住する先住民ユカギール(自称 odul, wadul)は、その数 1,100 人のうち、32.8%(360 人)が民族語であるユカギール語を母語と見なしている(1989 年の統計による)。ユカギール語は、いわゆる古アジア諸語のひとつとされるが、系統的には孤立した言語である。この言語はコリマ方言とツンドラ方言の二つに大別され、コリマ方言はコリマ川上流域のタイガ地帯に、ツンドラ方言はコリマ川下流域、アラゼヤ川流域とチュコチャヤ川流域のツンドラ地帯に分布する。

筆者は 1997 年夏、コリムスコエ村、及びセイムチャン村でコリマ方言の聞き取り調査を行った¹。両村は行政上はロシア連邦マガダン州のスレドニエカンスク地区に属し、コリムスコエ村はコリマ川上流沿いに、またセイムチャン村はコリマ川の支流であるセイムチャンカ川沿いに位置する。コリマ方言の話し手は、これらの村からコリマ川を少し下ったところにあるネレムノエ村、ズイリヤンカ村(ロシア連邦サハ共和国ベルフニエコリムスク地区に属する)を中心に居住している。コリマ方言はユカギール語の二つの方言のうちでも、話者数およそ 150 人と、非常に少数であり、その存続状況が危惧されている²。

この調査では、コリマ方言の話し手であるアガーフィア・グリゴーリエヴナ・シャドリナ氏の協力により、四つの民話資料を録音することができた。本稿では、この音声資料をおこしたもの記すことにする³。これらの民話は、ユカギール語の言語資料として、またユカギールのフォークロア資料として今後、研究を進めてゆく上で価値を持つものと考える。

2. 民話資料

資料の記述は、音韻表記に基づく。母音音素は/i, e, a, o, ə, u/の六つ、子音音素は/p, t, t̪, k, ɿ, b, d, d̪, g, ɿ, ʃ, ʒ, m, n, n̪, ɳ, l, l̪, r, w, j/の二十一個で行っている。ただし、他言語からの借用と見られる語彙に関してはこれらの音素の他に、母音/ə, i/、子音/mf/も用いた。各語のおおよその意味は、原語の下に記してある。疑問符のついているものは、まだ意味の確定できていないものである。また、この章の最後には、接辞のリストを記載した。ただし、これも、現在の

¹ この調査は、文部省科学研究補助金(国際学術研究:「アムール・サハリン地区「危機に曝された」諸言語文化の調査と記録」(学術調査 課題番号 0941009) 研究代表者 金子亨)によるものである。

² 話者数は、Крейнович(1982), p.3 による。もう一方の方言であるツンドラ方言の話者数は、ここでは約 250 人とされている。

³ これらの民話の語り手であるアガーフィア・グリゴーリエヴナ・シャドリナ氏、そして、音声資料をおこすのに協力してくださったダーリヤ・ペトローヴナ・ボリソワ氏に感謝を申し上げたい。

ところ意味が明らかになっているもののみである。これら、意味の明確でない語彙、接辞については、今後の研究で明らかにしてゆく必要があるであろう。

A) t'ol'soraadie (ウサギ)

pulun-die	terikie-die-gi	modo-nji	pulun-die	/t'ol'soraadie.../	terikie-die-gi
おじいさんと	その妻が	暮らしていた。	おじいさんと	その妻が	
modo-nji	t'ol'soraaa-die-le	uo-n'e-nji	pulun-die	mon-i	
暮らしていた。	ウサギを	子供にしていた。	おじいさんが	言った。	
" terike,	mit	t'ol'soraaa	lek-ke "	mon-i	pulun-die
ばあさん	私たちの	ウサギを	食べよう、	と言った。	おじいさんが
mon-i. ⁴	" numu-n	ʃobosoraa-le	loʃkaraa-le	lek-tek ?"	ugijelme
言った。	何の	器で	スプーンで	食べるのか？	翌朝
egie-nji	t'ol'soraaa-die	tan	aʒuu-pe-dej-le	medi-m.	pulun-die
起きた。	ウサギは	その	彼らの言葉を	聞いた。	おじいさんは
loʃkaraa	ʃobosoraa	nun-t'ii-meʃe	t'ol'soraaa-die	mon-i	terikie-die
スプーンを	器を	削りに行った。	ウサギが	言った。	おばあさんは
modo-dolo	tude	noʃii-le	amlaʃaj-deʃe	induu-l'el	t'ol'soraaa-die
座りながら	自分の	指貫を	飲み込んで	眠った。	ウサギは
nume budie	arpa-t'	tan nume	budiet	taat	pernude-j, pernude-j
家の 上に	登った。	その 家の	上から	そして	滑り降りた、滑り降りた。
taat	ed'ieʃ-u-m	" epiɛ !"	oʃ'e	" epiɛ !"	oʃ'e
そして	呼んだ。	おばあさん！	いない。	おばあさん！	いない。
terikie-die	tude	noʃii-le	amlaʃaj-deʃe	induu-l'el	t'ol'soraaa-die tandiet
おばあさんは	自分の	指貫を	飲み込んで	眠った。	ウサギは すると
unun-ge	eʃmun	gude	ʃeʃrej-l'el	pulun-die	kie-t'.
川へ	向こう岸	へ	逃げた。	おじいさんが	来た。
mon-i	" min	ʃobosoraa	loʃkaraa !"	terikie-die	tiin-e
と言った。	取れ	器を	スプーンを！	おばあさんは	それを
juo-l'el-u-m,	t'ol'soraaa-die	ʃeʃrej-l'el-geʃe	" l'erme	lew-din	
見たようだった、	ウサギが	逃げたのを。	何を	食べるために	
ket'ii-mek ?"	mon-i	" t'ol'soraaa-die	ʃeʃrej-l'el "	pulun-die	taat
持ってきたのか？	と言った。	ウサギは	逃げた。	おじいさんは	そして

⁴ 話し手は、この部分をロシア語で「おばあさんが言った」と訳している。

qanji-naa-m		" t'olboraa-die	tetidie	lew-dele,"
(おばあさんを)追いかけ出した。		ウサギを	お前一人で	食べて、
mon-i	" taat l'e-jek "	ibir-va krugom ⁵	taat	
と言った。こうして いるのだろう。		炉を 周って	そして	
qanji-naa-m	mure-de igeje-ge	egie-j	terikie-die	n'oso-j
追いかけ出した。彼女の靴の紐を		踏んだ。	おばあさんは 倒れた。	
t'eslaa-le ⁶	taat	t'ine-m	terikie-die.	amde-j
手斧で そして	殴った。	おばあさんは...	おばあさんは	死んだ。
iri-dej-le	ill'aj-m	n'elemedie	oij'e	molin nosii-de jor-oo-i
彼女の腹を 裂いた。	何も ない。	ただ	指貫が 入っている。	
" ee,	nurjoon	kudedie-l'el,"	mon-i	" met terike?
エー、 どうして	殺したんだろう、	と言った、	私の ばあさんを?	
iri-gi	ol'soden'e-j	el lew-l'el	t'olboraa-die-gele "	iri-dej-le iide-m
彼女の腹は 空っぽだ。 食べなかつたようだ			ウサギを。	彼女の腹を 縫つた。
anin-l'e-ge	orporo-m,	orpo-je-ge	taat	ugijelme kewe-t'
魚にある所に 掛けた、 掛ける所に。			そして	翌朝 行った。
t'olboraa-die	tannugi	unun-ge	pesse-t ewrie-l'el	jaffii-le aa-m
ウサギは その頃 川で			走り回っていた。 罠を	作った。
kie-t'.	terikie-die		ed'-ie-dele injoot	ind'e-t
帰つて來た。	おばあさんは	生き返つて	なんと	縫い物をしながら
modo-j	" t'olboraa-die-jin "	mon-i	" jaffii-lek, l'eme,	
座つていた。	ウサギに、	と言つた。	罠を	
nujil'ef-me "	ugijelme	qon-i	t'olboraa-die igie-l'el	jaffii-ge
仕掛けた。 翌朝	行つた。	ウサギが	かかつていた。	罠に
igie-l'el	tamun-gele	lej-ja	n'aadude tan(...?...).	t'emie-t'
かかつていた。	それを	食べた。	(?)	おしまい。

B) debegej (デベゲイ)

debegej	modo-j	t'uul'd'ii	pulut-e	punnume-n'e-j	tan
デベゲイが 暮らしていた。		不思議な	老人を	隣人としていた。	その

⁵ 露語 (кругом 「回転して、辺りに」) からの借用。

⁶ 露語 (тесло 「手斧」) からの借用。

t'uu'l'dii	pulut-ki	terike-gi	al aŋd'e-n-i	taat	debegej
不思議な	老人の	妻は	目が見えなかつた。	それから	デベゲイは
modo-dolo	mon-i	" ee,	tudaa	uo-joo-t,	" mon-i
座つて	言った。	エー、	かつて	若かった頃、	と言つた。
		" aŋd'e	ooloo	jedutej-nun-ju.	" debegej,
(人々を治療すると)	目が	とてもよく	見えるようになつた。	デベゲイ、	
me nujoot t'ouu ?!"	mon-i	" ee,	aaj	tabude	
何だつて？！	と(不思議な老人が)言つた。	エー、	また	そうやつて	
kudedej-te-jek "	mon-i	" pundu-k,		debegej	
始めるんだろう、	と(デベゲイが)言つた。	教えてくれ、		デベゲイ、	
kim'd'ej ?" " qon,"	mon-i	" nume-jin "	/ они соседями были /		
お願ひだ！ 行け、	と言つた。家へ				
" qon-dolo, "	mon-i	" tet terike "	/ в середине костер юрты /		
行ってから、	と言つた。お前の	ばあさん、			
" tet terike-jin mon,"	mon-i	" ibir-va	krugom	poŋod'ii-de-ge	
お前の	ばあさんに 言え、	と言つた。炉を	周つて	膝について	
l'e-gek tet,"	mon-i	" ſukume-de,	l'e-k, t'ine-k jolo-do-va		
いろ、	お前、	と言つた。彼女のいたる所を	殴れ、	彼女の後ろを。	
qon nume	" t'uu'l'dii pulut	qon-i	" terike, d'e		
行け 家へ。	不思議な 老人は	着いた。ばあさん、	そら、		
ajd'e-t-te-je	ajaa-k "	" ii, l'em-dik	aa-din	l'e-me ?"	
目を治してやる、	喜べ。 イー、	何を	しようと	してるんだい？	
mon-i " tet poŋod'ii-de-ge	l'e-k ibir-va	krugom "	mon-i		
と言つた。お前は 膝について	いろ、炉を	周つて	と言つた。		
tan t'eʃlaa-le min-dele	d'e jolo-do-vo ſukume	and'e			
その 手斧を 取つて、	ほら 後ろを いたる所	目を			
ajbiʃii-dele t'ine-m	t'ine-m t'ine-m krugom	qon-dolo,			
目隠しして 叩き割つた。	何度も叩き割つた。	周つて	追いながら。		
tan ajd'e-gi joogedej-m	tude terike-gele t'iite	t'umu			
その 彼女の目を ほどいた。	自分の ばあさんを このように	全く			
t'ine-l'el-u-m	t'umu kudedie-l'el-u-m "	ooj,	debegej		
叩き割つてしまつた。	全く 殺してしまつた。 オーイ、	デベゲイは			
l'emdik aa-mele ?	met terike-gele kudedie-l'el-u-m "	juo-mek "			
何を したんだ？ 私の ばあさんを 殺させた、		見ろ。			

debegej	numo qon-i /qaa l'emen/	sumaa-lek	l'ie-l'el-u-l,	t'omoo-d'e
デベゲイの	家に 来た。	袋が	あった、	大きな
/мешок ли что-то, как-то.../	debegej-gele	taat	Jinfaj-m	
	デベゲイを	そして	入れた。	
jinfaj-dele	pie-d-ii't'e-ge	arporojaj-m	tan	pie-d-ii't'e-ge arpoj-dele,
入れて	山の頂上に 上げた。	その	山の頂上に 上げて	
jaluu-jin	peffej-te-m,	tow-dele	taat	debegej mon-i
湖に	投げ込むのだ、 ?		すると	デベゲイが 言った。
" t'uul'd'ii	pulut,"	mon-i	" met	t'oroje-d-abut jannaal-el-me,"
不思議な	老人、	と言った。 私の		ナイフの袋を 忘れたようだ、
mon-i	" nume-ge	tamun t'uul'd'ii	tet-kele	al jandu-f-u-t.
言つた。	家に。	その 霊が	お前を	眠らせないだろう。
min-dej	jaq "	tan t'uul'd'ii	pulut	kewe-t: tanjide
取りに行け、	行け	その 不思議な	老人は	行つた。 そこへ
nume-jin	t'oroje-d-abut-ki	min-dej-mele	taat	l'e-dele l'emen
家へ	彼のナイフの袋を	取りに行った。	そして	いると、
modu l'emdiik!	aate-n	qogt'e-n	jananjal	medu-l " l'emdiik,"
何と	トナカイの ひづめの 音が		聞こえた。 何だ	
mon-i	" t'ii qudoo-i ?"	" ee,"	mon-i	" met and'e-lek,
と言つた。 ここに	あるのは エー		と言つた。 私は 目を	
and'e	ijuu-ge,	met	and'e-lek,	l'eme... /Это, как по-юкагирски
目を	?	私は	目を	
забыла даже./	and'e-lek	emtedej-nu-me ⁷	mon-i	" ee, met-ul
	目を	治療している、	と言つた。 エー、	私を
l'e-k aaj	emtedej,"	mon-i	" met and'e aaj	el en."
もまた 治せ、	と言つた。 私の 目	もまた	見えない。	
mon-i /еще/	" met	el and'e-l'e-k "	" tet joogedej "	mon-i
と言つた。	私は	目が見えない。	お前 解いてくれ、	言った。
tannugi	sumaa-d	anjil-gi	igeje-le	uld-oo-j joogedej-m
その時、	袋の	口は	紐で	閉められていた。 開けた。
uko-t:	sumaa--get	uko-t:	/aat'e-gi../	aat'e-le kej-l'el-u-l
出た、	袋から	出た。	トナカイで	来た

⁷ ヤクート語 (ЭМТЭЭ 「治療する」) からの借用。

erpeje-lek	taat	sumaa-de-ge	jinfaj-m	igeje-de-le	ulte-m
エヴエンだった。	そして	袋に	入れた。	紐で	閉じた。
aat'e-de-ge	ima-j	t'uge-de-gen	jolo gude	kewe-t'.	d'e,
彼のトナカイに	乗った。	彼の来た道を	元の方に	行つた。	ほら、
kie-t'.	t'uul'd'ii	pulut	kie-t'.	" debegej,"	mon-i
来了。	不思議な	老人が	来了。	デベゲイ、	言つた。
tet-t'e	t'aoje-d-abut	min!"	" ee,"	tabun	sumaa
お前の	ナイフの袋を	取れ！	エー、	その	袋の
molso-do-yot	mon-i	" bi e-sə-m debegej bi-ʃə ⁸ "		/Я, значит, не Дэбэгэй./	
中から	言った。	私はデベゲイではない。			
" ee,	aaj	kimdaan'-aa-jek"	d'e,	tin-tan	sumaa-gele tan
エー、	また	騙そうとしているな。	ほら、	その	袋を
jalšil-ŋin	peſſej-m	d'e	nume-ŋin	kewe-t'.	nume-ŋin
湖に	放り投げた。	家へ	行つた。	家へ	行って
juo-m	mod'u l'emndik!	debegej	modo-j	" debegej,	tet
見た	何と！	デベゲイが	座つていた。	デベゲイ、	お前は
qodit	qo-t	kie-t'ek?"	mon-i	" met	tet-ul
どこから	來たんだ？	と言つた。	私は	お前を	湖に
peſſej-mebedek"	" ee,	aaj	tabude	kudedej-te-jek"	mon-i
放り投げた。	エーイ	また	そうして	始めるのか、	と言つた。
" met ajbižii-ge	ewre-je	ajbižii-ge	ewre-r	kie-t'e"	
私は	あの世で	歩き回つていた。	あの世で	歩き回つて	帰つて來た、
mon-i	" tet	terike	taa	l'e-j"	mon-i
と言つた。	お前の	ばあさんは	そこに	いた、	" naqaa ⁹
uo-ŋoo-j"	mon-i	" n'aaderi-t'e	paj-ŋoo-t	kude-l'el	
若かった、	と言つた。	美しい	女に	なつていた。	
uo-ŋoo-t'e-ŋoo-t	taa	l'e-j	tet	terike."	" debegej,
若くなつて	そこに	いた	お前の	ばあさんは。	デベゲイ、
kimdej,	met-ul	tagide	aaj	peſſej	peſſej"
お願ひだ、	私を	そこに	また	放り投げろ、	放り投げろ、
mon-i	d'e,	al'oodie-j	t'omoo-d'e	sumaa-lek	min-mele
と言つた。	大きな	大きな	袋を	取つた。	" qonto-k,"
					運べ

⁸ この部分はエヴエン語である。

⁹ ヤクート語 (naha "とても") からの借用

mon-i	" pie-jin	arpojaj "	mon-i	taa	jaqa-nji
と言った。	山へ	上げろ。	と言った。	そこに	着いた。
t'uu'l'd'ii	pulut	taa	sumaa-va	sogie-j	debegej
不思議な	老人は	そこで	袋に	入った。	デベゲイは
ulte-m	d'e, jaasil-jin	peffej-m	" ee,	n'eqadimied'e	t'umu
閉めた。	湖に	放り投げた。	エー、	どんな	
ajbižii-ge	cl ewre-je "		mon-i	" met tet	terike
あの世でも	歩き回っていない、		と言った。	私は お前の	ばあさんを
el juo-je "	mon-i	" met	te-tul	me kimdaan'e-je !"	mon-i
見ていない、	と言った。私は		お前を	騙したのだ！	と言った。
tandiet	l'e-me,	tandiet	peffej-m	n'aadude tandele	tan
それから、	それから	放り投げた。		?	その
debegej	tudidie	modo-t,	tudidie	modo-t	pon'o-j
デベゲイは	一人で	暮らして、	一人で	暮らして	残った。

C) arnuujaadie (クズリ)

pun-nume	modo-l'el-ji	pulut	terike-n'e	irki-n
隣家に	暮らしていた、	おじいさんが	おばあさんと。	一人の
marqil'-n'aa-l'el-ji	tan titte	marqil'-gele	kodiel-jin	tadi-l'el-ja
娘を持っていた。	その 彼らの	娘を	狼に	与えた、
terike-d-ool	alsumun	l'e-l-ge,	t'aa-je	l'e-ge
妻として。	しばらく して	少しの間		暮らしていた。 とても
3adna-njoo-d'e-k	mid'ii-pe-de	igeje-de-gele		t'umu lew-l'el-u-m
(狼は)食いしん坊だった。彼らの櫂の		紐を		全部 食べた。
tamun-gele	nume-get	ugutej-l'el-ja	taat	arnuuja-die-n,
それ(狼)を	家から	追い出した。	それから	クズリに
arnuuja-die-jin	tadi-l'el-ja	arnuuja-die	nutneje-gi	ped'in'e-ge,
クズリに	(娘を)与えた。	クズリの	臍が	臭かったので
tamun-gele	aaj	ugutej-l'el-ja	tandiet	qanaa-l'el-ji,
それ(クズリ)を	また	追い出した。	それから	去った、
arnuuja-die-le	peffej-dele	arnuuja-die	tudidie	osoo-t pon'o-j
クズリを	捨てて。	クズリは	一人で	立って、 残った。

¹⁰ ヤクト語 (олыс 「とても」) からの借用

taat	l'el-de	taat	jaqat-aa-j			
そう	していく、	それから	歌い出した。			
" omnii	met-kele	nurjoon	el l'ii-l'el-ja	met	nutneje	
人々は	私を	どうして	居させなかつたのか。	私の	臍が	
ped'in'e-ge	el l'ii-l'el-ju "	taat	l'el-de	puke'e-ge	t'uge-t'en	
臭かつたので	居させなかつた。	そうして	いて	雪の所へ	道を？	
kewe-t'	kewej-dele	mon-i	" puke'e	tet-ek	joo	t'endeluu-l'el-u-l "
行つた。	行って、	言った。	雪よ	お前が		(一番)強い。
puke'e	mon-i	" met	el t'endeli-t'e	met-kele	ileje	far-nun-u-m "
雪が	言った。	私は	強くない。	私を		風が 吹き飛ばす。
taat	" ileje	tet-ek	joo	t'endeluu-l'el-u-l "	ileje	mon-i
それから、	風よ	お前が		(一番)強い。	風が	言った。
" met	el t'endeli-t'e	met	jaal	iit'e-ge	jodo-dollo	
私は	強くない。	私は	木の	てっぺんで		まわって
jabal'aj-nun-d'e "	tamun-hot	taadet	mon-i	" jaal	tet-ek	joo
止まる	それから			言つた。木よ、		お前が
t'endeluu-l'el-u-l "	jaal	mon-i	" met	el t'endeli-t'e	foromo	
(一番)強い。	木が	言った。	私は	強くない。		人間は
met-kele	t'ine-nun-u-m "	taat	" foromo	tet-ek	joo	
私を	切り倒す。	それから、	人よ、	お前が		
t'endeluu-l'el-u-l "	foromo	mon-i	" met	el t'endeli-t'e	smjert ¹¹	
(一番)強い。	人が	言った。	私は	強くない。		死が
met-kele	kudedie-nun-u-m "	n'aadude	tandedge	t'emie-t'		
私を	殺す。	?				おしまい。

D) piotor berbekin (ピヨートル・ベルベキン)¹²

irk-i-n	gorot-ke ¹³	piotor	berbekin	modo-l'ol
ある	町に	ピヨートル・ベルベキンが		暮らしていた。

¹¹ 露語 (смерть「死」) からの借用。

¹² Nikolaeva(1989)では、この主人公の名前、及び話のプロットはロシアの民話“Федор Бермягин”に由来すると指摘されている[Nikolaeva 1989, p.155]。

¹³ 露語 (город「町」) からの借用。

pat'tal'on-ek ¹⁴	piotor	berbekin-gele	ugun	gorot-jin
郵便配達夫だった。	ピヨートル・ベルベキンを		他の	町へ
jal'-l-el-ja l'emen	naado-joon-d'uon-le	jan-di..	jan-din	l'el-ja
送った。	重要な用事で		送ろうと	していた。
piotor	berbekin	taat	kewe-t'	qon-u-t, qon-u-t, qon-u-t,
ピヨートル・ベルベキンは	こうして	行つた。	しばらく行くと	
jaal molso-t al'oodie-j	ann-e-k	medu-l	" piotor	berbekin,
木の 茂みから 大きな 声が	聞こえた。	ピヨートル・ベルベキン、		
met lanji kelu-k."	mon-i	juode-j	n'el'emodie	el l'e-n'
私の 方へ 来い。	と言つた。 見た。	何も	無かつた。	
" piotor berbekin,	met lanji kelu-k "	pon'	azuu	
ピヨートル・ベルベキン	私の 方へ 来い。	何か	声の	
medu-l-ben-jin qon-i	taat	juo-m	mod'u l'emdk	
聞こえる方へ 行つた。	それから 見た、	何とまあ。		
jaal-ge apl'etaj	jododaa-l'el-u-h	" migide	migide	kelu-k
木に アプリタイが	巻きついていた。	こっちへ	こっちへ	来い。
migide kelu-k "	al'-de-ge jaqa-j	jaal	arqaa	jaqa-j
こっちへ 来い。	そのそばへ 行つた。	木の そばへ	行つた。	
apl'etaj menmege-t'	t'iine	piotor	berbekin-ge	taat
アプリタイは 跳んだ。	そこで ピヨートル・ベルベキンに	こうして		
jodaa-t': n'e t'ii-le	qon-i	n'e auoo-din	lorqaj-m	
巻きついた。	どこへも 行けなかつた。	立つてることも	できなかつた。	
n'e moda-din lorqaj-m	molso-de-n	taat	jodadaj-l'el	
座ることも できなかつた。	彼の体の こちらあちらに	巻きついた。		
" ee, taat asurpe-l kerijete," mon-i " lot'il-ge				
エ一、 こうして 苦しむ よりも と言つた。 火で				
at piede-je "	" e-, piede-k "	mon-i	" met lot'il el injii-je "	
燃えてしまおうか。	エ一、 燃えろ、 と言つた。 私は 火を 恐れない。			
" taat asurpe-l kerijete," mon-i " met oo3ii-ge at..				
こうして 苦しむ よりも と言つた。 私は 水辺に				
at lewdii-t'e" " ee, lewdu-k "	mon-i	" met oo3ii el injii-je "		
飲みに行こうか。 エ一 飲みに行け、 と言つた。 私は 水を 恐れない。				

14 露語 (почтальон 「郵便配達夫」) からの借用。

" tii-taat		lendool'i-t	ausurpe-de	ewre-l	kerijete,	sibit'e
こちらであちらで		空腹で	苦しんで	歩き回る	よりも	ノイバラ
nono-wo, sibit'e		nono-wo	molso	at ewre-je		sibit'e
株の中を	ノイバラの	株の	中を	歩き回ろうか、	ノイバラを	
legu-t "	" me nujoot t'osu ?"	mon-i	" met	sibit'e	legu-de	
食べながら。	なんだって？	と言った。	私は	ノイバラを	食べながら	
at ewre-je "	mon-i	" lendool'i-t "	mon-i	" sibit'e	lew-din "	
歩き回ろうか、	と言った。	空腹で、	と言った。	ノイバラを	食べに。	
" el qon-hok,"	mon-i "	jibit'e-jin,	met inji "		mon-i	
行くな、	と言った、	ノイバラの方へ	私は	恐い、	と言った。	
" met-ke	tamun	l'e-l-ge	mided'e	tite-mie-l-ben,"	mon-i	
私を	そこで	針の		ような物が、	と言った。	
" nit'aya-te-m	met-kele."	oo d'e,	piotor	berbekin-jin ...		
突き刺すだろう	私を。			ピヨートル・ベルベキンに...		
a-, medi-mele	d'e,	t'ejd'ije	jibit'e	nono	molso-n	taat
聞こえた。	わざと		ノイバラの	株の	中を	こうして
kewet'	taat	menmege-de		apl'etaj-gi	jaal-ge	aaj
行った。	すると	跳んで		アプリタイは	木に	再び
jodada-t'	oo d'e,	ed'-ie-j,	l'ege,	piotor	berbekin	
巻きついた。			生き返った、		ピヨートル・ベルベキンは。	
apl'etaj	tude-get	loda-j	taat	kewe-t'	d'e,	
アプリタイは	彼から	離れた。	そして		行った。	
" met-ket	palaa-jek "	mon-i	" met..	met	t'aat'aa-get	
私からは	助かったが、	と言った。	私の...	私の	兄からは	
el palaa-te-jek "	d'e,	taat	kewe-t'	qon-u-t,	qon-u-t,	
助からないだろう。		そして	行った。		しばらく行くと、	
qon-u-t,	qon-u-t,	irki-n	pulut-ke	jaqa-j	t'uul'd'ii	pulut
		一人の	老人の所に	着いた。	不思議な	老人
tee, l'em-dik	tee ?	irki-n	pulut-ke		t'uul'd'ii	pulut aqaj
か 何	か？	一人の	老人の所に。		不思議な	老人 ?
oo-l'el-te-j	and'e-gi	eri-t'	qorobo	but'un-ben	leg-uo-gi,	
なのだろう。	彼の目は	悪かった。	牛の	胴体の	食べられたのが	
t'iene	molso-do-wo	t'umut	so-oo-j	d'e	tude-n'e	modo-j,
小屋の	中に	全部	入っていた。	彼と		e-,
						暮らした。 エー、

mon-i " /tii taat aks... modo-i kerijete," mon-i " aksupe-i kerijete... /

と言った。

foromo	and'e	ooloo	l'ie-nun-nu,	omolot-nun-nu "	
人の	目を	とても良く		(私は)治したものだ。	
" piotor	berbekin,	met and'e omolot "	" tannugi l'e-k "	mon-i	
ピヨートル・ベルベキン、		私の 目を 治せ。	それなら、	と言った。	
" tomoo-d'e	alsuj..	oojii al'bej-tele,	tamun	loladaj	taat
大きな	鍋に...	水を 注いで、	それを	沸かせ。	それから
tet	qudoo-k "	mon-i	" tan	alsuj lolraj-ge,	tarbude
お前は	横になつていろ。	と言つた。 その		鍋が 沸いたら	それで
l'e-t-t'e	tetul.. "	d'e, tan alsuj lolra-t.	piotor	berbekin	
やろう、	お前を。	その 鍋が 沸いた。	ピヨートル・ベルベキンは		
n'aat'e-de	pudie taat	al'bej-u-m	tan oojii-gele,	lolso-j	oojii-gele
彼の顔の	上に そして	注いだ	その 水を	沸いた	水を。
o-,	and'e-dej-le	t'umu	itogedej-m	lolso-j	oojii..
オ一、	彼の目を	全部	破裂させた。	沸いた	水(で) ...
pad-oo-mu-j		taat	jejre-t.	jejrej-din	
煮えたようになつた。	そして	(ピヨートルは)逃げた。	逃げようと		
l'e-j	japadanji-pe	jonnoj-men-pe-k	taat	" japadanji-pe	
していた。	戸は	開いていた。	すると、	戸よ、	
tebie-njik "	mon-i	japadanji-pe	taat	tebie-ni	maqloo-j
閉じろ。	と(老人は)言つた。	戸は	すると	閉まつた。	近くの
japadanji-get	uko-t.	t'iene	molso-do-sot	tebie-ni	d'e t'iene
戸から	出た。	小屋の	中から	閉まつた。	小屋の
molso-do-sot	qorobo	but'un-ben	leg-ool-gi,	tan	nijie-d
中じゅうに	牛の	胴体の	食べられたものが、	その	脇腹の
amun-pe-gi	n'osoro-d	amun-pe-gi	t'umut	ti-taat	jonnu-j
骨が、	胸(?)の	骨が	全部	ここそこに	開いていた。
piotor	berbekin	tamun	molso-do-sot	ame-t.	tin-tan
ピヨートル・ベルベキンは	その	中に	隠れた。	あれ(老人)が	
pukid'e-t'	fukume	taat	anj'ii-laa-m	anj'ii-de	anj'ii-t..
飛び出してきた。	いたる所を	そして	探し始めた。	探しに	探して...
oj'e	piotor	berbekin-gele	el nugu-nu-j	tin-tan	qorobo
いなかつた。	ピヨートル・ベルベキンを		見つけなかつた。	あの	牛の

amun-pe-gele	japadanjl-get	pude	lugude	pejdii-m	" ee,"	
骨を	戸から	外	へ	投げた。	エー、	
tan	qorobo-n	azuu	mon-i	" e-,	piotor	berbekin
その	牛の	声が	言った。	エー、	ピヨートル・ベルベキンを	
met-n'e	met-n'e	irkil'en	pude	lugude	pejjej-mek" d'e,	
私と	私と	一緒に	外	へ	投げたぞ。	
piotor	berbekin	ajaa-j	d'e	tin-tan	pulut	
ピヨートル・ベルベキンは	喜んだ。	あの	老人は			
n'umdi-k	pejjej-mele	" piotor	berbekin,"	mon-i	" tet-in	
斧を	投げた。	ピヨートル・ベルベキン、	と言った。	お前に		
naado-noo-te-j,	maa "	mon-i	d'e,	piotor	berbekin	tude
必要だろう、	ほら、	と言った。	ピヨートル・ベルベキンは		自分の	
joloso	piidiit'e-le	taat	jin..	t'awatej-m	nurjen-gi	taat
小指の	端で	すると		なでた。	彼の手は	すると
tatti-t:	... t'inej-m	t'osu-m	d'e	sejre-t:	tin-tan	pulut
くつづいた。	... 切り落とした。	切った。		逃げた。	あの	老人は
min-dele	tan l'e-dej-le,	joloso	piidiit'e-gele	leg-u-m	leg-u-m	
取ると、	その	彼のものを	小指の	端を	食べた。	食べた。
d'e, " met-ket	palaa-jek,"	mon-i	" met	paabaa-get,	baaba jagaa-get	
からは	助かったが、		と言った。	私の 姉からは、	鬼婆からは	
el pon'oo-te-jek..	el palaa-te-jek "			qon-u-t, qon-u-t, qonut,		
残らないだろう..	助からないだろう。			しばらく行くと、		
irki-n t'uge-k	tee, l'emdiik	tee ?	taat	beelem ¹⁵	t'uge-gen	
ある 道	か 何	か	そして	出来上がった	道を	
qon-nu	baaba jagaa-ge	jaqa-j	" oo,	piotor	berbekin,	
行った。	鬼婆の所に	着いた。	オー、	ピヨートル・ベルベキン、		
kie-t'ek,"	mon-i	" met-n'e	modo-to-jok"	mon-i	tamun-gele	
来たか。	と言った。 私と	住め、	と言った。	それを		
terike-njoo-ji-t	modo-j	uo-n'e-ni		tude-get	tan	uo-gi
妻として	暮らしていた。	子供を持った		彼女から。	その	彼の子供は
t'omoo-j	piotor	berbekin-nin	mon-i	" id'ie	emej,"	
大きかった。	ピヨートル・ベルベキンに	言った。	今		お母さんが、	

15 ヤクート語 (бэлем 「準備のできた」) からの借用と考えられる。

mon-i	" n'e'eme-le el ket'ii-te-j		tannugi	tet-ek
と言った。 何も	持つてこないだろう。		そうしたら	お前を
lek-te-mle "	mon-i "	taat	tamun	jalaa
食べるだろう、	と言つた。	そして	その	後で
lek-te-mle	Sejrej,	l'e-jin	qon,	unu-n
食べるだろう。	逃げろ、	行け、	川の	端へ
mon-i	" ataqu-n ugurt'eraa-k	afoo-te-j	tamun	t'inej
と言つた。 二艘の	丸木舟が	立つてゐるだろう。	それを	割れ。
ʃepinkegii	ooʒii-ge	t'ande	keweji-tej	tamun
木片が	水を	上流へ	行くだろう。	anabuskaa-joon
aa-k "	mon-i	" t'ugoon aa-k "	mon-i	d'e, " emej
しろ、	と言つた。 急いで	しろ、	と言つた。	母さんが
kel-te-j	taat ern'e-kie-j "	mon-i	" piotor berbekin,	
来るだろう。	そして 叫び出すだろう。	言つた。	ピヨートル・ベルベキン	
migide	juodej mit	uo	qaar-te-ge el juodej-lek,"	
こつちを 見ろ。	私たちの 子供を	分けよう。	それを) 見るな、	
mon-i	" tet "	d'e, t'ugoon	taat l'e-j	pon'qaraa
と言つた。 お前は。	素早く	そのように	した。	白樺の
ugurt'eraa-gele	ʃepinkegii-le	t'inej-m	unun-ge	t'ande qodin
丸木舟を	木片に	叩き割つた。	川を	上流に
keweji-te-j	tabude-k	anabuskaa-joon	aa-mele	t'ugoon aam
(木片は)行くだろう。	それを	ボートに	した。 素早く	作つた。
d'e, taat	anabuskaa-gele	ooʒii-ge	l'en, t'alvaj-m	baaba jagaa
そして ボートを	水に		押し出した。	鬼婆が
ʃebed'e-gi, ʃebed'e-l-e	medej-m	tude	ibijii-pe-gele	taat min-dele
走るのを、 走るのを	聞いた。	自分の	乳房を	すると 取つて、
ti-taat	pejd'ii-m	ʃebed'e-j	l'ek, mon-i	" mit uo
こちらにあちらに	投げた。	走つた。	tan	ti-taat t'uut ¹⁶
qaar-te-ge "	mon-i " migide	juodej "	ti-taat	私たちの 子供を
分けよう。 言つた。	こつちを	見ろ。	その	こちらあちらを 少し
juode-t'.	tin-tan	tude	uo-gele	jifauadaj-m ejmunde
見た。	そいつは	自分の	子供を	引き裂いた。 半分を

16 露語 (чупь 「少し」) からの借用。

taat	ajii-m	mond'et	oozii-ge	al al'beʃ-u-m
そして	投げつけた。	もう少しで	水に	落とす所だった。
tandiet	unun-ge	ledude	kewe-t̄.	anabuskaa-le d'e, "met-ket
それから	川を	下流に	行った、	ボートで。 私からは
kewe-jek,"	mon-i	"ataqu-n	bagatir-get ¹⁷	el pon'a.. el kewe-te-jek"
行つてしまふが、	と言つた。 d'e, taat	二人の qon-i	qon-u-t, qon-u-t, qon-u-t, qon-u-t,	勇士からは 行けないだろう。
そして	行つた。	しばらく行くと		
irk-i-n t'omoo-d'e	t'orqo-so	jaqa-j	tanda	ataqu-n bagatir-pe-k
ある 大きな kimd'i-ŋi-H	中州 (?) に sile	着いた。 ulmul-ge,	そこで abadaa-l'el-ji	二人の 勇士が qodoo-ŋi
戦つていた。	戦つて 力が	尽きたので 横になつた。	横になつた。	横たわつていた。
taat	kenigel'e	mon-i	d'e, "mit	sile ulmu-ge,"
すると	一方が 言つた。		私たちの qamie-k,	力が 尽きたので、 adin bagatir
mon-i	"mo qodoo-jeli	met-ul		
と言つた。	横たわつている。 私を		手伝え。	その 勇士を
kudedde-ge "	mon-i	"tannugi	met tet-ul	tet nume-jin
殺そう。	と言つた。 そうしたら		私は お前を	お前の 家へ
joqto-t "	mon-i	d'e, tan	bagatir-gele	atadloo-t kudedde-ja tan
送り届けよう。	と言つた。		その 勇士を	二人で 殺した。 その
nigide-t:	l'e-ŋoot	kudej,	piili-n'e-j	nodo-ŋoot kude-j taat
?		なつた。	羽を持った 鳥に	なつた。 そして
tude	budie	jomdo-m	taat keweŋ-ŋi	tude nume-ŋa jaqa-ŋi
自分の	上に 乗せた。		そして 行つた。	彼の 家に 着いた。
aaj	ſoromo-ŋoot	kude-j "d'e, piotor	berbekin,"	mon-i
再び	人間に なつた。		ピヨートル・ベルベキン、	と言つた。
"d'e, met	tet-ul	tet	nume-jin qonto-t "	d'e, nodo-ŋoot kude-j
私は	お前を お前の	家へ	運ぼう。	鳥に なつた。
tude	budie	jamda-m	taat meries-ŋu-m	d'e tan tude gorot-ke
自分の	上に 乗せた。	そして	飛んで運んだ。	その 彼の 町に
jaqte-m	"met..,"	mon-i "met-n'e	met tet-ul	
送り届けた。	私... と言つた。	私と	私が お前を	

¹⁷ 露語 (богатырь 「英雄、豪傑」) からの借用。

ket'ii-l-oo-l	nilgel-jin	el pundu-lok "	tan	taat	l'd-le	kewe-t"
運んだことを	誰にも	話すな。	その	そして	いて、	行つた。
tude	nume-jin	marie-t'	d'e	piotor	berbekin	l'emen
自分の 家へ		飛んで行つた。			ピヨートル・ベルベキンは	
naado-ŋoo-d'oон-gele,	ket'ii-te-m-ben-gele	t'umu	ket'ii-m	d'e	inmul-l'el	
重要なものを、	運ぶべき物を		全て	運んだ。		酔つ払つた、
ooze-ʃ-l'el-usa	taat	ugijelme	uko-t'	tin-tan	bagatir	
飲ませたので。	そして	翌朝	出た。	あの		勇士が
endii	n'aat'e-de-ge,	n'aat'e-de	kiejie	l'e-j	" met	tet-in
すぐそこに	彼の前に	彼の顔の	前に	いた。	私は	お前に
el mo-d'e ?"	mon-i	" met-n'e	met	tet-ul	ket'ii-l-oo-l	
言わなかつたか？	と言つた。	私と	私が	お前を	運んだことを	
el pundu-lok "	" el met-ek	taa	l'e-l "	mon-i "	met	
話すな。	私じやない	あそこに	いたのは。	と言つた。	私の	
xmfel'-ek ¹⁸	taa	l'e-l	xmfel'e-k	taa	l'e-l	
酔いが	あそこに	いたのだ。	酔いが	あそこに	いたのだ。	
met-ek	ann'e-ʃ-mele "	mon-i	" l'em-dik,	tamuon	xmfel'-oo-l ?"	
私に	喋らせたのだ、	と言つた。	何だ、	その		酔いというのは？
mon-i	" ten	met-in	ket'ii-k "	mon-i	l'emen	
と言つた。	それを	私に	運んで来い。	と言つた。		
bot'oон-qolo ¹⁹	qonto-m	" tuon	ooze-k "	mon-i	" ugijelme	met-in..,
樽を	運んだ。	これを	飲め、	と言つた。	明朝	私に...、
met	tet-ul	juo-jii-t "	l'e,	nume-jin	kewe-t'	ugijelme
私は お前を	見に来る。			家へ	行つた。	翌朝
tin-tan	bagatir	tan	xmfel'	ooz-oo-l-ho,	l'emen,	l'e-p-tek
あの	勇士は	その 酔いを	飲んで、		jaama-p-laq ²⁰	何やらかにやらを 穴を
aa-l'el-mele	pie-pa-p-laq	mooji-t	uuji-l'e-mele	" id'ie	juo-k "	
作った。	山を	抱えて、	作った。	今		見ろ、
mon-i	d'e,	" met	ubuj	mon-l'el-d'e	tet-in	el met-ek
と言つた。	私は	さつき	言った	お前に。		私じやない

¹⁸ 露語 (хмель 「酔い」) からの借用。

¹⁹ 露語 (бочка 「樽」) からの借用。

²⁰ 露語 (яма 「穴」) からの借用。

taa	t'e-l	xmfel'-ek "	" piotor	berbekin,	tet
あそこに	いたのは。	酔いだ。	ピヨートル・ベルベキン、	お前は	
omot'e	aa-mek	tet	omot'e	uuji-mek	id'ie met-n'e
良く	やつた。	お前は	良く	やつた。	今 私と
kelu-l-oo-l	iskoom	tabude	foromo-jin	n'ied'ie-ri-k "	n'aadude bœ.
来たことを	しばしば	それを	人間に	話せ。	おしまい。

接辞一覧

名詞

-Ø	基本格	-ool	～として
-l(e)	目的語	-ŋoot～-ŋoon	～に (なる、する)
-kele～-gele	目的語	-die	指小辞
-l(ek)～-l(aq), -(e)k	焦点表示	-pe～-p～-pul	複数
-ke～-ge～-sa～-so	場所格	-ki～-gi, -de(j)～-do(j)	所属形(3人称)
-jin～-(j)n	向格	-n'e～-n'	出名動詞「～を持っている」
-ket～-get～-bat～-bot	起点格	-te～-t	出名動詞「～を与える」
-ken～-gen～-san	経由格	-(-ŋ)oo	出名動詞「～である」
-l(e)	具格	-n～-d	つなぎ子音
-n'e	共格		

動詞

自動詞/述語焦点

1sg.	-je, -t'e, -d'e
2sg.	-jek, -t'ek, -d'ek
3sg.	-Ø, -j, -i
1pl.	-jeli, -t'eli, -d'eli
2pl.	-jemet, -t'emet, -d'emet
3pl.	-ŋi

自動詞/主語焦点

-
-
-
-
-ŋi

他動詞/述語焦点	他動詞/主語焦点	他動詞/目的語焦点	
1sg. -Ø	-i	-me	
2sg. -mek	-i	-me	
3sg. -m	-i	-mele	
1pl. -j	-i	-i	
2pl. -met	-i	-mek	
3pl. -ŋa	-ŋi	-ŋimele	
命令	否定命令		
2sg. -k, -gek	-lek		
1pl. -ge			
2pl. -ŋik	-ŋilek		
-t~-te	未来	-aa~-naa~-aa~-ie	開始相
-tek	疑問 (1pl.)	-nu~-nun	継続相、慣習相
-j~-d'e~-t'e	形動詞	-ool	結果相、受動態
-t	副動詞	-j~-t'ii	使役態
-r~-de	副動詞	-t'ii~-dej	「～しに行く」
-tele~-dele~-dolo	副動詞	-din	「～するために」
-i	動名詞	-ʒii	他動詞化
-je~-t'e~-d'e	名詞化	-u	間母音
-t'el	不確実法		

参考文献

- Васильев, Ю. И. (ред.) (1994) *Краткий русско-якутский якутско-русский словарь*, Бичик, Якутск.
- Иохельсон, В. И. (1900) *Материалы по изучению юкагирского языка и фольклора*, Санкт-Петербург.
- Крейнович, Е. А. (1982) *Исследования и материалы по юкагирскому языку*, Наука, Ленинград.
- Николаева, И. А. (ред.) (1989) *Фольклор юкагиров Верхней Колымы: Хрестоатия, часть 1-2*, Якутск.